

2020年5月号 セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆さまへ

コロナパンデミックは感染者が世界で300万人を超え、米欧では拡大がピークを迎えているようです。早晚米欧がピークアウトしても、ワクチンや処方薬の一般化が完全収束の着地点になるとすれば、それまでの感染第二波・第三波への懸念も暫し続くと考えられ、まだまだ予断を許しません。改めて、今回の感染症はリーマンショックをも上回る戦後最大の経済危機をもたらしたと言えましょう。

従って、経済活動の完全平常化には年を越えるほどの期間を未だ要するかもしれませんが、金融市場の現状は3月の動揺と混乱のカオスの暴落から一転、株式市場ではずっと下落幅の半値戻し水準にまで価格は回復して、マーケットは早期の段階的な経済活動再開を期待していると言えましょうか。

とは言えコロナ感染は未だわからぬことばかりで、金融市場はまだ不確実な悲観と楽観の交錯から短期的な価格の上下が続くと想定しておいた方がいいでしょう。長期投資家は引き続き、目先の相場動向に揺さぶられず、淡々と投資行動を継続することが肝要です。

それと同時に、やがて訪れるコロナ終息とコロナ後の経済構造を見据えておくことも長期投資家にとって大切なことです。それは米欧日先進諸国が軒並み投入した巨額の財政支出と未曾有のスケールの金融緩和が、実体経済の活動再開以降その回復速度を加速させる可能性と共に、私たちが現在体験している様々な行動制約がコロナ後の新たなライフスタイルや働き方の変化につながる。即ちインターネットなどのITの社会生活基盤への更なる浸透や医療システムの加速度的進化などをはじめとした、あらゆる産業に構造変化をもたらすニューパラダイム経済の到来なども、長期投資家目線でなら予感出来ることでしょう。

危機は次なる進化と発展成長の土台になる。これは歴史的事実であり、将来への楽観を前提に強い意志を持って長期投資を続けていただきたいと思えます。

代表取締役社長 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託に係るリスクや費用等は、それぞれの投資信託により異なります。投資元本の保証はありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

委託会社:セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口:03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

4月の市場動向

株式

金融市場の混乱への警戒が和らいだほか、経済活動の再開への期待が高まったことを受けて上昇

経済活動は引き続き大きく抑制されているものの、政府や中央銀行による大規模な経済支援策が打ち出されたことを背景に金融市場の混乱への警戒が和らいだほか、世界各地で経済活動の再開を模索する動きが見られたことで、先行きに対する悲観的な見方が後退して上昇しました。

債券

中央銀行が経済活動を支援するために金融緩和を積極的に行う姿勢を示していることを背景に堅調な展開

新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の落ち込みを受けて金融緩和の長期化観測が広がるなかで、米連邦準備制度理事会（FRB）が企業や地方政府の活動を支えるための大規模な資金供給措置を打ち出すなど中央銀行が金融緩和姿勢を強めていることを背景に堅調な展開となりました。

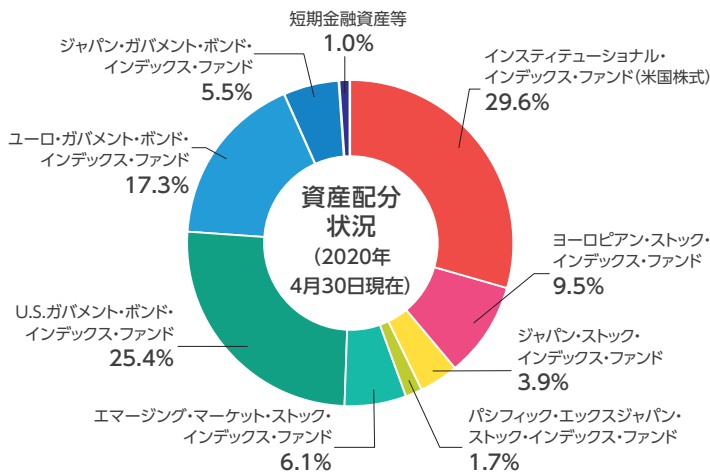
為替

ユーロが下落しドルが軟調な展開となるなかで、円はやや堅調に推移し、対ドル、対ユーロで円高

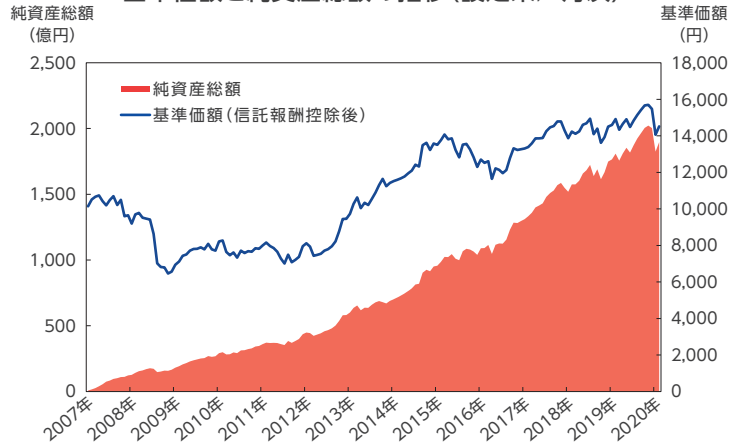
ユーロが域内景気の減速に対する懸念が一段と高まったことを受けて下落し、ドルは大規模な資金供給措置が打ち出されたほか、金融緩和の長期化観測が一段と高まったことを受けて軟調な展開となりました。一方で金融緩和の拡大余地が限られている円はやや堅調に推移しました。

基準価額と純資産総額及び騰落率（2020年4月30日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
14,515円	1897.5億円	45.15%	3.21%	-4.12%	-2.68%



基準価額と純資産総額の推移 (設定来/月次)



4月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、株式市場が上昇したことを受けて、中盤に株式・債券比率のリバランスを目的として株式ファンドの売却と債券ファンドの購入を行いました。また、定期積立プランなどのご購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、債券ファンドの購入を行いました。

ファンドマネジャーからの一言

今月は、投資先のファンドが欧州債に投資するものを除いて上昇し、基準価額の上昇要因となりました。為替は対ドル、対ユーロで円高となり、基準価額の下落要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆さまの長期的な資産形成に資することができるよう努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

※変動要因については、右側の図1、図2をご参照ください。
※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

図1 4月度の投資先ファンド価格の変動による影響

※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

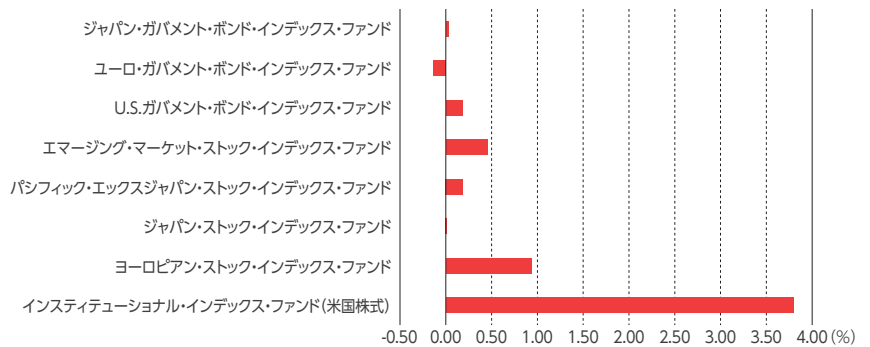
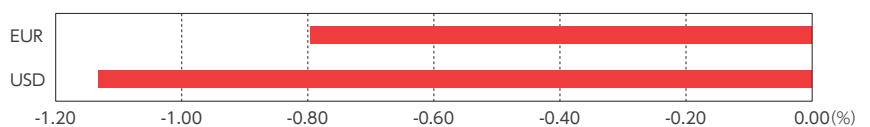


図2 4月度の為替変動による影響 ※月末の投資比率に基づく概算値



当ファンドに係るリスクについて

◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。〔「価格変動リスク」〕また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。〔「為替変動リスク」〕その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当ファンドに係る費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料:ありません。
- 信託財産留保額:換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用:ファンドの日々の純資産総額に年0.506%(税抜0.46%)の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.57%±0.02%程度(税込)となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。

○その他費用:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬(消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む。)および「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9：00～17：00 (土日祝日、年末年始を除く)